甲斐市立敷島北小学校 《学校だより》 校長室通信

きたっ子



第2021-16号 R4年 3月25日 文責 中村 裕司

令和3年度修了式

ここ数日の寒さにも負けることなく、24日に校庭の桜が開花していました。23日には、開花していたのかもしれません。

桜の花が散る頃にスタートした令和3年度も、今日で授業日は終了です。そして、今日は、令和3年度の修了式です。今日お渡しする「あゆみ」には修了証がありますが、その学年の教育課程を修了したことを認め、進級できることの証です。その修了証を、各学年の代表者に渡す、そんな式です。



今年度も、2学期はじめと3学期の分散登校。コロナによる学級閉鎖など、今年度も『コロナ』の影響が色濃く出てしまった1年でした。一部の学校行事は中止せざるを得なくなり、内容を変更して実施したものもありました。

そんな1年ですが、この1年で、子どもたちは着実に成長した姿を見せてくれました。 最近の様子ですと・・・

3月になり、登校班が新しくなり、班長が5年生や4年生に引き継がれた班がいくつもあります。新しく班長になった子は、ちょっと緊張しているのか、表情は凛々しい感じもしています。一方、引退(?)した6年生は、一番後ろを歩いていましたが、ずいぶんリラックスした感じでした。それだけ、責任感を持っていたのでしょう。4月からも安全に登校してくれることを願います。

3月17日。翌日の卒業式のために、5年生が会場準備や校内の清掃をしてくれました。

会場では、体育館の改修工事に伴い運び出していたパイプ椅子がフロアに積まれていましたが、卒業式に必要な椅子を並べた後、余分な椅子はステージ下のワゴンに収納。収納した数は、200脚以上あったと思いますが、短時間のうちに終了しました。また、リニューアルした体育館の掃除もしてくれました。チリやほこりや新品のシートの上の足跡など、新しいが故にとても目立つのですが、雑巾がけやモップ掛け、掃き掃除をてきぱき行い、「次は何したらいいの?」と、手持ち無沙汰になる子もいるくらいでした。

そのほかにも、1年生は、3学期に数時間授業をしましたが、高学年の担任しか担任したことのない私が相手でも、ちゃんと勉強ができていました。2年生は「ていねいに書くと漢字をよく覚えるよ」というと、書初めのような丁寧な字で書く子だらけでした。3年生は、卒業式の練習を見に体育館に行くときに教室をのぞくたびに、いつも落ち着いた感じで授業をしていました。4年生は、版画の授業の時にものすごい集中力で取り組み、教室の空気がぴいんと張りつめるような瞬間がありました。

こんな子どもたちの姿を見て、来年度の北小がとても楽しみです。
さて、修了式では次のような話をします。

1年間頑張ってきたこととして、読書をたくさんしたこと、健康に 過ごす努力をしてきたこと。それから、4月になって進級してから、 今までよりもっと成長できるように、3つの大切な勉強をすること。 最後に、12日間の春休みを安全・健康に過ごすこと、

新年度へ向けて、心と頭と体の準備を整え、4月7日の始業式を迎えられるように、ご家庭でも子どもたちの応援をお願いします。

おめでとうございます

藤原史子先生が、3月11日に 双子のお子さん(女児)を出産 されました。

健やかな成長を お祈りします。



祝・卒業

甲斐市立敷島北小学校・第44回卒業証書授与式が、 甲斐市教育部長小澤明様、PTA会長亀田歩美様を来賓 に迎え、35名の卒業生全員の出席のもと、新しくなっ た体育館で行われました。

堂々とした卒業生の入場。凛々しい姿での証書授与。



感染症対策のため、式の中では合唱はできなかったものの、1人1人が一つになって伝えた呼びかけ。6年間の成長の姿を見せてくれました。その呼びかけの中では、これまでの思い出や、感謝、そしてこれからの新しい生活に向けての決意を伝えてくれました。

35名の卒業生の中学校での成長と活躍、そして、1人の人として成長していってくれることを、心から祈り、応援したいと思います。

ご卒業おめでとうございます。







* * * * * * * * * * * * * * *

来年度の学級編成(予定)

来年度の児童数と学級数は下の表の通りです。(3月25日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
児童数	29	28	37	27	30	30	10	191
学級数	1	1	2	1	1	1	3	10

全校児童数は、今年度より3名減り、191名となります。

令和3年度から始まった、「25人学級」(小学1・2年生)という県の制度がありますが、35人を超えると2学級、50名を超えると3学級という制度ですので、新1・2年生はこれに該当しないため、それぞれ1学級となります。ただ、学級の児童数が多くなることに対しては、それぞれの学級に午前中は担任以外にもう1人の教員(アクティブ加配)が指導に入ります。特別支援学級(どんぐり)は3学級で、知的、病弱、情緒学級がそれぞれ1学級となります。

『コロナ禍で』という言葉が、あいさつでの際に当たり前のように使われる日々の中で、できる限り子どもたちの学びを止めないようにと努力してきたつもりではありますが、思いとは裏腹に、感染の拡大の中で制約を受けながらの日々でした。今後の状況は予断を許さない面もありますが、この1年の北小教育へのご協力に感謝し、今後ともご理解ご協力いただけますようお願いとし、令和3年度の教育活動を終えるにあたってのご挨拶とさせていただきます。

≪感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い≫